

産地競争力の強化について

【担当省庁】農林水産省

京野菜、宇治茶、酒米の共同施設整備事業の「強い農業づくり交付金」事業への採択

◆ 日豪 E P A 交渉が大筋で合意に至り、T P P 交渉が進展する中、京都府内の大宗を占める中小農家の収益力向上は喫緊の課題である。

このため、京都府では、昨年 12 月に打ち出された国の農地中間管理機構の創設や米政策の見直しと歩調を合わせて、農業の競争力を強化することとし、**京野菜、宇治茶、酒米の一層の産地拡大に向けて、「強い農業づくり交付金」を活用して計画的に共同利用施設の整備**を行いたいと考えている。

については、「強い農業づくり交付金」の予算を確保いただくとともに、**京都府の事業を採択**していただきたい。

< 予定事業 >

- 野菜生産の規模拡大、低コスト化と安定生産を実現するための低コスト耐候性ハウスや高度環境制御施設の整備
- 野菜の生産と出荷調製作業の分業化を進めるための野菜選果場の整備
- 東京の豊洲新市場をターゲットにした京野菜のクールドチェーン出荷を実現するための冷蔵集出荷・荷捌き施設の整備
- てん茶の急激な需要の増加、高品質・有利販売、輸出に対応するための集出荷貯蔵施設の整備
- 京都オリジナルの酒米用種苗の安定供給と低コスト生産につなげるための水稻育苗センターの整備

< 農林水産省の概算要求 >

◎ 強い農業づくり交付金 424 億円（26 年度予算額 234 億円）

国産農畜産物の安定供給のため、生産から流通まで強い農業づくりに必要な共同利用施設の整備等を支援

【現状・課題等】

- ◎ 京都府では、水稻から野菜生産への転換を進めた結果、野菜産出額が増加し、その維持率は全国 9 位

さらに生産を拡大するためには、規模拡大、低コスト化、生産と出荷調整作業の分業等が必要

野菜産出額の都道府県別維持率ベストテン

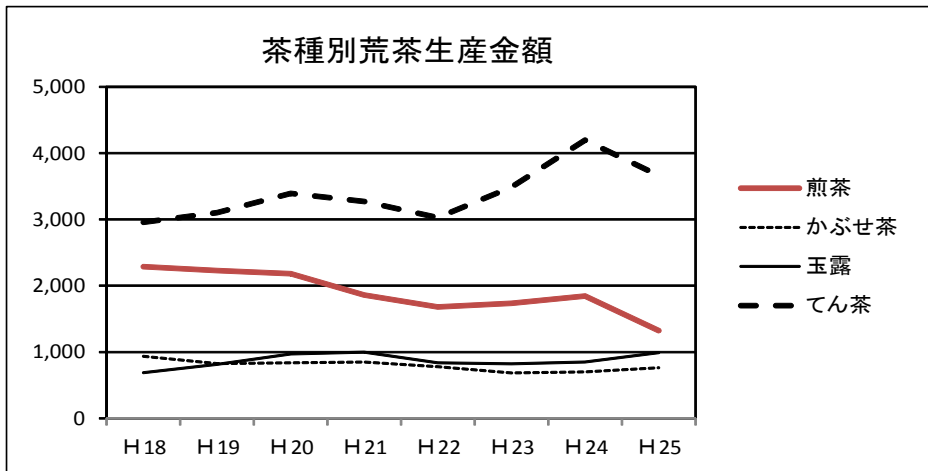
単位：% 億円

順位	都道府県	産出額維持率 (平成元年比較)	農業産出額		備考
			平成元年(a)	平成24年(b)	
1	長 崎	75.0	260	455	
2	福 岡	37.1	564	773	
3	北 海 道	32.3	1,447	1,915	
4	栃 木	30.2	626	815	
5	大 分	22.5	276	338	
6	熊 本	22.0	964	1,176	
7	佐 賀	21.2	302	366	
8	青 森	14.3	504	576	
9	京 都	11.7	214	239	H10以降、米を抜く
10	神 奈 川	11.3	399	444	

* 産出額維持率 = $b/a \times 100 - 100$

- ◎ 宇治茶

需要に応じ、てん茶生産額が急激に伸びており、そのための集出荷施設の整備が必要



- ◎ 酒米

近年、日本酒の輸出が伸びており、京都府内の酒米生産がメーカー需要に追いついていない。酒米を増産するために、効率的な酒米品種育苗を進める水稻育苗センターの整備が必要

日本酒輸出、京都府酒米生産量の推移

	平成23年	平成24年	平成25年
清酒の輸出金額 ¹⁾	87.8億円	89.5億円	105.2億円
京都府酒米生産量 ²⁾	2,264t	5,523t	6,422t
清酒メーカー購入希望充足率 ³⁾	100%	69%	59%

1) 財務省貿易統計

2) 3) 京都府調べ

【京都府の担当課】

農林水産部 農産課 075-414-4961